

目指す姿

社会の変化を変革の転機と捉え、果敢に挑戦し、市民満足度を高める行政経営

必要な視点

スマート行政の実現

常に成長を意識する自己変革力の強化

未来志向によるポジティブシンキング

推進項目【9】		主な成果
職員・組織（ヒト）	01 自ら考え行動できる、多様な人材の確保・育成	・職員提案について、応募者に加えて11年次研修(政策立案研修)受講者を含めた2部構成に見直すことで、提案者数が8人から16人へ増加した。
	02 ワーク・ライフ・インテグレーションの推進	・育児休業制度の周知や未取得の男性職員への取得促進を行うことで、男性の育児休業取得率が90.6%から91.4%へ上昇した。
	03 社会問題に即応できる組織体制の構築	・性別を問わない管理監督職への登用を進めることにより、女性管理監督職員の割合が24.0%から27.6%へ上昇した。
施設・財務（モノ・カネ）	04 将来を見据えた公共施設の適正配置	・公共施設等総合管理計画の改訂に向けた検討を進めることにより、公共施設の最適化を図った。
	05 中長期的な視点に立った財政運営	・RPAの活用や生成AIに関する研修を実施することにより、定型業務の削減時間を3,241時間から3,644時間へ増やした。
サービス	06 最新技術やデータの利活用によるサービス向上	・申請手続のオンライン化に向けた全庁向けワークショップを実施することにより、対応可能手続数が101件から180件へ拡充した。
	07 市民目線に立った相談環境の充実	・市民のオンライン予約の利用ニーズに対応し、予約可能な相談メニュー数を16件から23件へ拡充することで、利便性の向上を図った。
	08 ピンポイントかつタイムリーな情報発信と市民ニーズの把握	・市報のリニューアルや広報ミニアプリの導入により、「必要な市政情報が入手できている」と思う市民の割合が67%から83.5%に増えた。
	09 多様な主体との連携	・人材育成の取組やその効果を広く発信することで、大学や企業等25団体との連携体制を構築した。